

**製品名: ペプシン A ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15964**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	42kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PGA3/PGA4/PGA5
別名	Pepsin A; PGA3; PGA4; PGA5
遺伝子 ID	5222/643847
SwissProt ID	P00790
免疫原	抗血清はヒトペプシン A 由来の合成ペプチドに対して産生された。AA 範囲: 258-307

**背景**

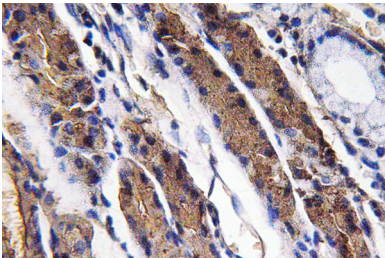
この遺伝子は、エンドペプチダーゼ A1 ファミリーに属する消化酵素ペプシンのタンパク質前駆体をコードしています。コードされている前駆体は胃の主細胞から分泌され、酸性条件下で自己触媒的に切断されて活性酵素を形成し、食物タンパク質の消化に作用しま

す。この遺伝子は11番染色体上の関連遺伝子クラスターに存在し、各遺伝子は複数のペプシノゲンのいずれかをコードしています。血清中のペプシノゲン濃度は、萎縮性胃炎および胃癌のバイオマーカーとなる可能性があります。[RefSeq提供、2015年7月]、触媒活性：優先切断：P1およびP1'位の疎水性、好ましくは芳香族残基。インスリンB鎖の1-Phe-|-Val-2、4-Gln-|-His-5、13-Glu-|-Ala-14、14-Ala-|-Leu-15、15-Leu-|-Tyr-16、16-Tyr-|-Leu-17、23-Gly-|-Phe-24、24-Phe-|-Phe-25、および25-Phe-|-Tyr-26結合を切断します。機能：特に広い特異性を示します。フェニルアラニンとロイシンを含む結合が優先されますが、他の多くの結合もある程度切断されます。類似性：ペプチダーゼA1ファミリーに属します。、

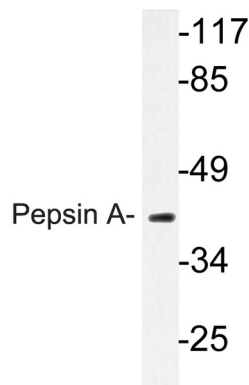
## 研究分野

-

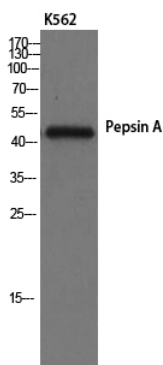
## 画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌組織におけるペプシン A 抗体の免疫組織化学分析。



ペプシン A 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



ペプシン A ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析